



愛犬本のベストセラー グレイと家族と5年のいとなみ

絵描き家族に迎え入れられたものの、病のためわずか5歳で旅立ったハスキー犬グレイ。いのちの輝き、喜怒哀楽、生老病死、別れることの意味など、さまざまに描かれた、絵描きとグレイとの愛犬物語。あらたなスケッチ・エッセイをそえて集大成した愛蔵版。

愛蔵版 **グレイがまってるから** いせひでこ:著 平凡社
四六判並製 416頁 2022年刊 ISBN:9784582839012 2,420円



60年以上前の青森に なぜこれほど惹かれるのか。

昭和30年代の青森。奇跡の瞬間を撮り溜めていた写真家があった。没後、発見されたフィルム束。そこには、戦後の青森に生きる人々の日常の姿と、やがて失われる情景への思慕にみちた、故郷を愛する写真家の眼差しがありました。頁をめくるとに優しい気持ちに。

青森 1950-1962 **工藤正市写真集** 工藤正市:著 みすず書房
A5変型上製 432頁 2021年刊 ISBN:9784622090205 3,960円



日本最古のフィギュア 360度大解剖しました

土偶は縄文時代に作られた人形の焼き物。パンツをはいた土偶やハート形の土偶など、日本最古の美術品の土偶70体をさまざまな角度から大解剖。本書は縄文の美の宇宙をカラー図版で紹介。東京新聞・中日新聞連載の「土偶界へようこそ」を書籍化。

土偶界へようこそ——縄文の美の宇宙 譽田亜紀子:著 山川出版社
四六判並製 208頁 2017年刊 ISBN:9784634151147 1,760円

* 価格は10%税込です

出版社クイズ

なんという名前の出版社かわかりますか？

①1999年に明日香出版社から暖簾分けのような形でスタート。15年にわたり語学書でトップクラスの売上を維持する驚異なるヒット作『どんどん話すための瞬間英作文トレーニング』は66刷84万5千部。2006年刊行以来現在も売上更新爆進中。

②社のキャッチをどうするかで社員全員が泊まり込み。社長案もこき下ろす容赦ない議論の末、体力の限界共に「いつも、学ぶ人の近くに」に落ち着く。

③2代目の現社長は無類のサッカーファン。2010年の新婚旅行では南アフリカのワールドカップ観戦を選ぶほど。推しは浦和レッズ。しかもこの年に入社する。

*クイズの答えは次号(13号)=梓会加盟出版社を紹介してゆきます

前号のクイズのお答え

人生を左右する一冊を

左右社

2005年創業当初は、デザイナー・戸田ツトムの事務所を間借りしていた。社名は書家・石川九揚による。「友」の字は右手と左手の象形文字が並べて作られており、「友とともにある出版社を」という願いが込められている。

会社ロゴは亀だが、その理由は飼っている亀吉の存在が大きい。全従業員、甲羅を洗いながら、いずれ亀の寿命に負けないロングセラーを出す燃えている。近刊は『ウクライナ戦争日記』『戦争とデザイン』『ポスト資本主義の欲望』『ぼやいて、聞いて。』など。



梓会 図書館クラブ 通信

Azusa-kai Library Club



図書館は本の森。出版梓会は事典から絵本までユニークな本を丁寧に作る出版社の集まりです。この葉では毎回テーマを決めて、読書の愉しみを、ひとりの時間を極上にしてくれるお宝本を、こっそりお教えします

暑いしコロナだし世界は不穏だし
物価も上がるし。

今月のテーマは、

「ほっと一息、しませんか」。

ストレスを和らげる、癒しのための
本、あれこれ。



2022年12号
出版梓会

データダウンロードはこちら⇒





豊富なエピソードを駆使し、語り口調で大作曲家を紹介

バッハ、ベートーヴェンなど6人の大作曲家はどんな人？ 人気チェリストのイッサーリスがユーモアたっぷりに紹介する作曲家たち。モーツァルトは「ハムスターの目を思わせる賢さがある、子猫のように遊び好きで、子犬のように愛情に敏感」だった。

もし大作曲家と友だちになれたら… 音楽タイムトラベル
スティーブン・イッサーリス：著 板倉克子：訳 音楽之友社
四六判上製 256頁 2003年刊 ISBN:9784276215207 2,750円



東日本大震災を機に生まれ、定番絵本となったロングセラー

しずかな山あいや、にぎやかな都会で。川のほとりや、海辺の町で。朝をむかえた子どもたちが、あたらしい1日のために窓をあけます。あたりまえのような、なにげない日々のくりかえし。その中にこそある、たしかな希望と、生きることよるこびを描いた絵本。

あさになったのでまどをあけますよ 荒井良二：著 偕成社
30×22cm上製 32頁 2011年刊 ISBN:9784032323801 1,430円



世界的な昔話研究者による珠玉のエッセイ

何世代も語り継いできた昔話には人生観や自然観、子育てのヒントがしみ込んでいる。あたたかなまなざしで人生の本質を語り「大丈夫だよ」と励ましてくれます。昔話に秘められる大切なことを紐解く一冊。二人の息子（小澤淳さん、健二さん）との鼎談「子どもとことば」も収録。

昔話の扉をひらこう 小澤俊夫：著 暮しの手帖社
四六判並製 224頁 2022年刊 ISBN:9784766002256 2,000円



スペアミント、ペパーミント、アップルミント…香草は強くプランターでよく育ちます。おすすめはレモンバーム。安ワインに葉っぱをつけると、俄然美味しくなるよ！



名翻訳家の、おもしろうてやがていとしきエッセイ集

迫りくる締切地獄で七転八倒しながらも、言葉とパチンコと競馬に真摯に向き合い、複数の筆名を使い分けて200冊を超える訳書を生んだ翻訳の巨人・東江一紀。知られざる生態と翻訳哲学が明かされる、おもしろうてやがていとしき、最初で最後のエッセイ集。

ねみみにみみず 東江一紀、越前敏弥：編 作品社
四六判並製 272頁 2018年刊 ISBN:9784861826979 1,980円



巨樹の生命の力強さを感じてください

近畿とその周辺の山歩きで出会ってきたスギ、ブナ、トチ、カツラなど、様々な巨樹の圧倒されるようなフォルム、個性、生命力。巨樹というより巨人の人格を見るような森の主との、出会いの悦びと魅力を語る。巨樹に出会うまでの行程11コースも紹介。

森の巨人たち——巨樹と出会う——近畿とその周辺の山
草川啓三：著 ナカニシヤ出版
A5判上製 176頁 2017年刊 ISBN:9784779511844 1,980円



アロマ・精油の原料植物と世界中のハーブを楽しめる

気持ちを落ち着かせたり、リフレッシュさせたりなど多くの効果を持つアロマセラピー。そこで使用する精油の原料は、どんな植物で、どんな香り？ このハーブは、どんなところに生えているの？など 眺めるだけでも楽しい、美しい植物写真満載の事典です。

アロマ&ハーブ大事典 林真一郎：監修 新星出版社
A5判並製 288頁 2021年刊 ISBN:9784405094031 2,200円



圧倒的なビジュアルで植物界の全てがわかる！

植物界・花・根・葉・種子と果実・茎と枝・植物の科の7つのテーマで構成し、生態が生き生きと伝わる写真、緻密なスケッチ、美しい博物画など合計1500点以上収録。専門用語は極力使わずに解説し、植物の形態と機能を美しくダイナミックかつ迫真に表現する図鑑。

FLORA 図鑑 植物の世界
スミソニアン協会、キュー王立植物園：監修 東京書籍
B4変型上製 440頁 2019年刊 ISBN:9784487812578 6,380円



幸せな牛から健やかでおいしい牛乳は生まれる

自然放牧による本来の酪農に取り組む、岩手県の中洞牧場。効率優先の酪農ではなく、牛に無理のない自然な放牧を実践し、牛と人と自然の持続可能な未来を目指している。そんな牧場の春夏秋冬の姿と、生きる言葉を写真とともにつづった一冊。

おいしい牛乳は草の色——牛たちと暮らすなかほら牧場の365日
中洞正：著 安田菜津紀、高橋宣仁：写真 春陽堂書店
A5判並製 176頁 2020年刊 ISBN:9784394880035 2,200円



とらえがたい水をどうかしてとらえたいと願う詩情

水にまつわる多様な表現を、古典から現代の諸作品まで幅広く紹介。季節の移ろいや日々の暮らしに生きる人びとの心情を『雨のなまえ』などで知られる詩人が細やかな筆致ですくいあげる。さまざまな水の気配と思惟と伝承、旅の水について書き下ろした1冊。

水のなまえ 高橋順子：著 白水社
四六判上製 240頁 2014年刊 ISBN:9784560083642 2,090円